

# 山形県環境審議会 総会 議事録

## 1 日 時

令和4年5月23日（月） 午後1時30分～午後2時45分

## 2 場 所

Web会議

## 3 出席者等（敬称略）

### (1) 出席委員及び特別委員

青柳 紀子	伊藤 眞子	今村 哲史	内田 美穂	江成はるか
大友 幸子	大西 尚樹	大場 宏利	小笠原一穂	門脇 彩花
國方 敬司	小林 裕明	佐藤景一郎	鈴木 育子	鳥羽 妙
内藤いづみ	野堀 嘉裕	堀川 敬子	本橋 元	横尾 友栄
横山 潤	横山 孝男			
山田 昇	（東北農政局農村振興部長代理）		益田 健太	（東北森林管理局長代理）
中村 光一	（東北経済産業局長代理）		今野 裕美	（東北地方整備局長代理）
村上 政昭	（酒田海上保安部長代理）		中山 隆治	（東北地方環境事務所長）

### (2) 欠席委員及び特別委員

梅川 信治	佐藤真由美	竹田 昭雄	三浦 秀一	渡邊 元子
渡辺 理絵				

### (3) 県・事務局

環境エネルギー部長	安孫子義浩
環境科学研究センター所長	高橋 佳志
環境エネルギー部環境企画課長	荒木 泰子
エネルギー政策推進課長	大澤 修一
水大気環境課長	青木 政浩
循環型社会推進課長	後藤 絵美
循環型社会推進課廃棄物対策主幹	前田 学
みどり自然課みどり県民活動推進主幹	小関 秀章
みどり自然課課長補佐	永井 彰

## 4 会議の概要

### (1) 開 会

### (2) 挨拶（環境エネルギー部長）

環境エネルギー部長	環境エネルギー部長を今年4月に拝命いたしました安孫子と申します。どうぞよろしく願いいたします。 本日はお忙しい中、環境審議会総会に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃、本県の環境行政全般につきまして格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
-----------	---

	<p>さて、本県では、令和3年3月に策定しました「第4次山形県環境計画」におきまして、「持続的発展が可能な豊かで美しい山形県」を目指しまして、「持続可能な社会をけん引する人づくりと県民総ぐるみによる運動の展開」や「気候変動対策による環境と成長の好循環（グリーン成長）の実現」など6つの施策の柱を掲げながら取組みを進めているところであります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症が私達の生活に影響を及ぼし始めてから3年目となりますけれども、県内では、新規感染者数が依然として高止まりの状況が続いており、予断を許さない状況にあります。県としましても、引き続き感染防止と経済回復の両立に向けて、対策を進めていくとともに、ポストコロナ時代にあっては、持続可能な社会の実現を目指していくことが重要であると考えております。</p> <p>環境、社会を取り巻く情勢に目を向けますと、昨年6月に施行されました改正地球温暖化対策推進法では、「2050年までのカーボンニュートラルの実現」が基本理念として明記されまして、また、昨年11月に開催されたCOP26では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5℃に抑えるとしたいわゆる「1.5℃目標」を世界全体の目標とすることが合意されるなど、脱炭素に向けた動きが加速化しております。</p> <p>こうした中、県では、「ゼロカーボンやまがた2050」宣言の実現に向けて具体的な行動を起こすため、昨年度、「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」を策定いたしました。今年度は、このアクションプランに基づきまして、県、市町村、関係団体からなる「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を新たに立ち上げており、今後、広く県民を巻き込みながら、新たな県民運動として、「みんなの地球（あす）のためにチャレンジ！カーボンニュートラルやまがた県民運動」を展開してまいります。</p> <p>また、今年8月には、本県におきまして、「山の日」全国大会の開催を予定しております。本県の豊かな自然と地球の環境の保全に加え、「やまがた百名山」などの本県の山岳資源の活用及び継承につきまして、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>本日の総会は、主に、本審議会での昨年度の実績と今年度の開催計画、県の施策等につきまして御報告を申し上げる予定でございます。委員の皆様には、幅広い見地から、忌憚のない御意見、御提言を頂戴できればと思います。どうぞよろしくお願いたします。</p>
--	--

(3) 新任委員紹介（出席者名簿に沿って、事務局が紹介）

(4) 議 事

① 議事録署名人の指名について

横山会長	山形県環境審議会運営規則第7条の規定により、「審議会の会議について
------	-----------------------------------

	は、議事録を作成し、議長及び議長の指名した委員2名が署名する」とされていますので、私以外の議事録署名人として、青柳紀子委員及び内田美穂委員を指名します。
--	--

② 部会所属委員の指名について

横山会長	新任の2名の委員の方の所属する部会を指名いたします。 川村文洋委員を「環境保全部会」及び「自然環境部会」の所属委員に、伊藤智人委員を「環境保全部会」の所属委員に指名します。
------	---

(5) 報告

① 令和3年度の各部会の決議事項について

横山会長	令和3年度の各部会の決議事項について、審議会運営規則第6条第2項の規定により、各部会長から決議要旨を御報告いただきたいと思います。また、主な決議事項の詳細及び成果については、後ほど、事務局から説明を加えていただくことにしますので、よろしくお願いします。
各部会長	<b>資料5</b> について説明
横山会長	続いて、決議事項の詳細及び成果について、事務局から御報告をいただきます。 はじめに、カーボンニュートラルやまがたアクションプランの概要について、お願いします。
事務局（環境企画課長）	<b>資料5-1</b> について説明
横山会長	続いて、水資源保全地域の指定状況について、お願いします。
事務局（環境企画課長）	<b>資料5-2</b> について説明
横山会長	続いて、山形県第13次鳥獣保護管理事業計画の概要について、お願いします。
事務局（みどり自然課課長補佐）	<b>資料5-3</b> について説明
横山会長	続いて、第4期山形県ツキノワグマ管理計画の概要について、お願い

	<p>します。</p>
事務局 (みどり自然課課長補佐)	<p>資料5-4について説明</p>
横山会長	<p>続いて、第4期山形県ニホンザル管理計画の概要について、お願いします。</p>
事務局 (みどり自然課課長補佐)	<p>資料5-5について説明</p>
横山会長	<p>ここまでの各部会長及び事務局からの報告に対し、委員の皆様から御質問などございますか。なお、新任の委員の方を除き、御自分が所属する部会以外の部会に関する御質問を優先させていただきたいと思えます。</p> <p>(質問なし)</p> <p>この後にも、質疑応答、意見交換の時間を設けておりますので、次に進めさせていただきたいと思えます。</p>

② 令和4年度の各部会の開催計画について

横山会長	<p>次に、令和4年度の各部会の開催計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (環境企画課長)	<p>資料6について説明</p>
横山会長	<p>各部会の開催日程につきましては、委員及び特別委員の皆様から、できるだけ御都合をつけて出席いただければと思えます。</p>

③ 令和4年度環境エネルギー部主要施策について

横山会長	<p>本日は皆様にお集まりいただいたせっかくの機会ですので、令和4年度環境エネルギー部の主要施策について、事務局から説明をいただきたいと思えます。</p>
事務局 (環境企画課長)	<p>資料7について説明</p>

④ その他

横山会長	<p>続いて、審議会の審議事項とはなっておりませんが、関連する事項について、事務局から説明をいただきたいと思います。</p> <p>はじめに、「山形県再生可能エネルギーと地域の自然環境、歴史・文化的環境等との調和に関する条例」について、お願いします。</p>
事務局(エネルギー政策推進課長)	<p><a href="#">資料8</a>について説明</p>
横山会長	<p>続いて、「脱炭素社会推進条例(仮称)」の制定について、お願いします。</p>
事務局(環境企画課長)	<p>内容について説明</p>
横山会長	<p>続いて、第6回「山の日」全国大会の開催について、お願いします。</p>
事務局(みどり自然課課長補佐)	<p><a href="#">資料9-1</a> <a href="#">資料9-2</a>について説明</p>
横山会長	<p>最後に、本日は、委員の皆様がお忙しい時間を割いてお集まりいただいたせっかくの機会ですので、事務局からの説明等に対する御質問を含め、全体に関して御意見、御質問等をいただければと思います。</p>
大友委員	<p><a href="#">資料7</a>の環境エネルギー部主要施策の体系の中で説明のあった施策1の山形県民CO2削減価値創出事業費についてですが、事業の内容として、若者の環境保全活動に対する補助や学生環境ボランティアの育成及び活用、若者向け環境SDGsワークショップの開催との記載がありますが、具体的にどのような事業に対して補助を行うのかをお聞きしたいと思います。</p> <p>また、「山の日」全国大会ですが、せっかくの機会ですので記念式典をオンラインで配信するなど、実際に950人程度が参加するにしても、参加できない人にも関心を持ってもらうために、「山の日」全国大会の内容を動画として残してはいかがでしょうか。</p>
事務局(環境企画課長)	<p>山形県民CO2削減価値創出事業費の具体的な事業ですが、まず、若者の環境保全活動に対する補助については、新規事業になりまして、高校生以上の大学生や若者等のグループが環境保全活動やカーボンニュートラルに資する活動など、活動の内容は幅広く考えておりますが、その</p>

ような活動を行う際に5万円を上限に補助するものでございます。ぜひ、委員の皆様方、教えていらっしゃる学生の方々に御周知いただければと思います。

学生環境ボランティアにつきましても、今年度の新規事業になりました。現在、ボランティアを募集中でございます。大学生の方々から環境ボランティアとして登録いただきまして、出前講座ですとか、色々なイベントでの普及啓発活動で活躍していただきたいと考えております。6月に研修を行いまして、それから本格的に活動を行っていく予定としておりますので、ぜひこちらの方もPRかたがたお願いしたいと思えます。

最後の若者向け環境SDGsワークショップにつきましても、高校、大学、専門学校等で、こちらで用意したSDGsのプログラムを授業として学んでいただくものになっております。現在、各学校に照会させていただいておりますので、学校、学部、サークル単位などで、ぜひ御活用いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

事務局 (みどり自然課課長補佐)

「山の日」全国大会の記念式典については、インターネットを通じて、式典の様子を中継できないか、現在、検討しているところでございます。

大西委員

「山の日」全国大会は、大変期待しております。若者に対する施策については、他県も色々と若者の活動に対する補助を行っており、山大の方にもお知らせがきていますので、人材の奪い合いのような感じになっていると思えます。せめて、山形県内の学生たちに、「こういうことをやっているのぜひどうですか」ということを広報していかないと本当にもったいないと思えます。

堀川委員

県の主要施策を策定した時点では、ロシアのウクライナ軍事侵攻を誰も想像していなかったと思えますが、今後は世界的にエネルギーの供給が課題になってくると思っております。エネルギーをどうやって自分たちで確保していくか、本当に真摯に考えなくてはいけない時代に入ってきたということを県民へ伝えていく努力をしていただければと思えます。地産地消型のエネルギー確保に変えていくことが、地球温暖化を止めることはできないですけれども、緩やかにしていく知恵になっていくと思えますし、そこはやはり県がリーディングしていただければと思えます。

それから、わかりやすい施策ということがとても重要で、「生活スタイルを変える」といった場合、例えば、天気の良い日は外で過ごすとか家で電気を使わなくて済むとか、それは健康にもよいのでウォーキングをしてみましようとか、わかりやくて具体的なやり方を提示していくと皆さん

	自身が貢献しているという感覚になると思いますので、細やかな施策、地域に見合った施策というのを考えていただければと思います。
事務局(エネルギー政策推進課長)	我々としましても、エネルギー戦略の中で、再生可能エネルギーの開発促進、そして地域導入、いわゆる地産地消ですが、これらを掲げて、現在、取組みを進めておりますけれども、その役割はより明確に重要になったと考えておりますので、今後一層取組みを進めていきたいと考えております。
横山会長	今のことに関してですが、「山形県再生可能エネルギーと地域の自然環境、歴史・文化的環境等との調和に関する条例」の説明で、メガワット、メガソーラーという言葉が出てきましたけれども、言葉自体は大分広がっていますが、それがどのくらいの規模なのかというのがわかりにくいような気がします。
事務局(エネルギー政策推進課長)	1,000kwでメガソーラーという形になりますが、規模については、確かに若干わかりにくいところもありますので、県民の皆さんに話をする際には、そのあたりも気をつけながらお伝えしていきたいと考えております。
横山会長	ありがとうございました。本日は県の方針等について議論いただき、大切な御意見をいただきました。これまで以上に総会の意義が高まったような感じがいたしました。事務局においては、委員の皆様からいただいた御意見・御提言を今後の施策の推進にぜひ活かしていただきたいと思います。 以上で事務局に進行をお返ししたいと思います。

—議事終了—

(6) その他(事務局から各部会出席へのご配慮を依頼)

(7) 閉 会

議事録署名人 会長 横 山 孝 男  
委員 青 柳 紀 子  
委員 内 田 美 穂